

JAL愛媛原告を支える会

あの空へ
帰ろう

ニュース

発行：JAL不当解雇とたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館 3F 愛媛労連内
松山市三番町 8-10-2 TEL 089-945-4526

私も
応援
します

“未来に希望をかけて”
私も応援します
愛媛民主文学 小林信次

初めて、JALの愛媛原告団のタスキをつけた林恵美さんと出会ったのは、4年前の松山市議会選挙の励ます会でした。爽やかな報告、誠実な人柄を感じました。その後、西予の大池ひとみさんにも出会い、集会の折の物品販売で声を掛けることがありました。

私は、飛行機で松山から名古屋を往復する間、キャビンアテンダントや機長の案内を注目していました。こういう職場でも解雇される現実、しかも「当時のJALは過去最高の利益をあ

げていたにもかかわらず、ベランのパイロットと客室乗務員165名を不当解雇」するという理不尽さ。11年あまりの抗議、交渉などが積み上げられた。しかし、解雇は撤回されていないし、林さんや大池さんは、その誠実さにもかかわらず、現場へは戻されていません。

その闘いの年月は、実に喜びより、苦しさや涙の日々であったのではと。昨年にはその原告の一人が亡くなっています。その無念さを想像すると胸が痛みます。

あの未曾有の福島原発事故を起こした震災から11年が経つた今日(22.3.11)、夕方には伊方原発反対集会へ出かける。集会にはロシアのウクライナ侵攻に対する抗議行動の意味もあるだろう。ウクライナには稼働可能な原発が15基あるそうだ。(許されないことだが)戦争で狙われるのを避けられないだろう。日本でも一刻も早く全ての原発を廃炉にすべきだ。罪のない

3月8日国際女性デー愛媛集会で参加者全員に配られたミモザの黄色い花が窓辺で咲いている。一つ一つが小さなぽんぽりのようで愛らしい。花言葉は「感謝・友情」、昨年12月に急逝したかけがえのない仲間である細井砂織さんに捧げたい。庭の片隅には今年も沈丁花がほころび春の香りを運んでくれる。

たたかいが勝利を呼び寄せる

JAL被解雇者労働組合(JAL争議団)

松山市在住 林 恵美

未来に希望をかけて
生きるかぎり
仲間よ
働くすべての仲間たちよ
俺達は太いなる道で
出会うだろう



市井の人々が真っ先に犠牲になる戦争。理不尽な戦争が地球上からなくなる日はまだ見えないが、あきらめず声を上げ行動していくこう、名もなき人々の声が世界を覆うまで。まずは日本にある軍事同盟をなくさなくては！

(裏面に続く)

新たな決意

2月16日「JAL争議の全面解決をめざす東京集会」が開かれた。実行委員会の皆さま、賛同して下さった全ての方々に心からの感謝を伝えたい。全国から107団体と440名の個人

から賛同を頂き当日も約200名の実参加を得た。同時配信したYouTubeではのべ400名以上の方が視聴して下さった（現在も視聴可）。12年目に入った闘いで予想をはるかに上回る参加をして頂いた事は大きな励ましと同時に勝利への新たな決意をさせてくれた。超党派の国会議員の方々の支援も心強い。都労委を解決の場とする新たな闘いが始まつた。日本最大の争議となつてゐる横暴な解雇。削減必要数、営業利益のどちらか

ら見ても全く必要のなかつた解雇であることは会社文書からも明々白々だ。解決のために必要なのは不誠実、無責任なJAL経営陣に全面解決することをきちんと決断させることだけだ。狡猾老獴な日航労務を包囲し勝利するためには更に闘いの戦線を広げなければならない。闘つてこそ勝利は得られると歴史が証明している。

165名が揃つて明るくラストフライトができる日まで思いつきり闘おう！働く者の人権と空の安全を守るために。

更なるご支援を心よりお願い申し上げます。



2022.2.16 「JAL争議の全面解決をめざす東京集会」に総決起したJHU争議団



ウクライナに平和を!!

2022.3.8国際女性デー参加者と争議団

